



# みんながつながる 地域学校協働活動便り NO.8

青森県教育庁生涯学習課地域連携推進グループ TEL017-734-9890 E-mail: chikuko\_kudo@mx.pref.aomori.jp  
 総括的な役割を担う地域学校協働活動推進員 工藤知久子

## 令和5年度 地域と学校とのパートナーシップ強化事業

### 地域学校協働活動研修（中南・下北・上北地区）

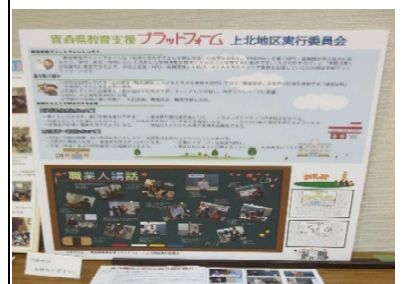
～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動との一体的推進に向けて～

令和5年度“地域学校協働活動研修”前半は、ゆめ☆まなびネット代表(文科省 CS マイスター)の大谷裕美子氏を、昨年度に引き続き3地区の講師にお招きしました。軽快な語りで、特に学校運営協議会と地域学校協働活動の役割について自転車の絵を使った説明は、捉え方が整理しやすく分かりやすいものでした。更に、学校にとっても地域にとっても win-win の関係となる具体的な事例は、参加者からすぐにでも取り入れたいという声が多くありました。

模擬熟議では、校種が違うメンバーとの話し合いの中で、多様な視点に気づき、地域とつながる重要性や課題など今後の取組について前向きに協議されました。

講師から、推進員やコーディネーターを設置し体制づくりをすることは、「先生の負担軽減につながり、地域と学校が対等に子どもたちに体験活動を増やしてくれる」、「学校と地域をつなぐ人材を見つける、地域をよく知っている推進員は必要である」と、参加した教育委員会関係者へ推進員等を配置するよう強い要望がありました。

地区	中南	下北	上北
日時	令和5年7月4日（火）	令和5年7月5日（水）	令和5年7月27日（木）
会場	弘前市中央公民館 相馬館長慶閣	むつ来さまい館	東北町コミュニティセンター 未来館
参加人数	会場 58名 オンライン 15名	会場 21名 オンライン 8名	会場 71名 オンライン 7名



その他

同日、下北地区、上北地区プラットフォーム実行委員会では、活動紹介や講師紹介等を展示し、研修会参加者に情報提供をしました。また、3地区教育事務所担当者の研修会準備のご協力もあり、暑い中での研修会にたくさんの方々のご参加くださいました。皆様ありがとうございました。



## 青森県立森田養護学校 訪問

県教育委員会は、今年度から地域学校協働活動推進員を黒石高等学校、八戸高等支援学校、森田養護学校の県立学校3校に1名ずつ委嘱しました。

そのうち森田養護学校（菊地圭子校長）を6月22日訪問し見学してきました。菊池教頭と木村地域学校協働活動推進員がご対応くださり、校内見学とコミュニティ・スクール（学校運営協議会）、森養ひまわり応援隊についてご説明くださいました。木村推進員は同校に勤務経験があり、学校や地域をよく知っているため、森養ひまわり応援隊や運営委員との仲介役として活躍しています

児童生徒は小中高等部合わせて98名が在籍。年々児童生徒数は増加傾向にあり、学校としては、きめ細やかな対応に職員を一人でも多く配属してほしいとの本音を伺いました。一方、コミュニティ・スクール6年目を迎え、もりた保育園、たていし愛護園、森田小中学校、五所川原第一高校との交流、事業所見学、地域とのクリーン作戦、農産物直売所体験、事務所見学、馬市まつりで生徒の作品販売など、地域学校連携協働が活発に計画、実施されていました。

また、就労継続支援A型事業所、B型事業所での就労を目指している生徒のために様々な企業等とのつながりを深めています。学校運営委員には地元の企業の方もいらっしゃいますが、遠方の会議にも出席して情報を収集しているとのことでした。



生徒作品は8/25・26  
馬市まつりで販売されました



## 令和5年度地域と学校とのパートナーシップ強化事業 地域活動者・企業が学ぶ場と情報交換会（三八地区）

7月18日、八戸市友の会福祉会館にて、まなびのたねネットワーク代表理事 伊勢みゆき氏を講師に、企業関係者及び地域活動者と学校が連携・協働して、地域の子どものを育む仕組み（地域学校協働活動）を学ぶ研修会を開催しました。三八地域の企業等から15名が参加し、これからの地域と学校の連携協働の在り方について情報交換をしました。

前半は「地域全体で築く子どもの未来～地域学校協働活動の推進～」をテーマに伊勢氏にご講義いただきました。大人が地域でのつながりをつくり、子どもを真ん中において、チームになって動くことがこれからの地域学校協働活動のポイントであるとし、実践例として宮城県内での企業とタイアップした「たらこをつくろう」の活動を紹介していただきました。後半の情報交換では「私たちができる教育支援活動」を様々な種類の企業の方々がグループで話し合い、どのような支援ができるのか、しているのか、学校との連携についてなど意見交換をしました。

9月25日八戸市、26日弘前市において、学校関係者と企業等の情報交換会を開催します。ぜひ地域学校協働活動推進員の方もご参加ください。

## 令和5年度 教育自立圏（コミュニティ・スクール）研修会

8月2日、弘前市教育委員会主催の令和5年度教育自立圏研修会に出席しました。コミュニティ・スクールを基盤とした学校と地域の連携・協働についての理解を深め、学校運営協議会委員と地域コーディネーターの資質向上及び情報交換を目的に、35名が出席しました。教育委員会から他県の先進的な事例や県内6地区の事例、弘前市の活動実績が紹介されました。グループワークでは、グループ毎に「〇〇な子」のテーマを選び、やってみたい企画や活動、どこと協力して実践するかなど、学校運営協議会や地域コーディネーターの活動の情報交換を行いながら、今後の活動を話し合いました。

弘前市のように早くからコミュニティ・スクールを実施しているところでは、多くの地区で活動のマンネリ化やボランティアの確保など、共通の課題を抱えています。コロナ禍で活動ができなかった内容を見直す機会を設け、目の前の部活動地域移行や地域住民との防災訓練など、新たなつながりを探っていく方向性が今後の学校運営協議会のテーマになるのではないかと思います。

※（弘前市は平成30年4月に、郷土を誇りに夢を育む「教育自立圏」を構築し、コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育が始まりました。「教育自立圏」とは、子どもの健やかな成長に向かって、小中学校、家庭、地域が一緒に考え、力を合わせて9年間の学びと育ちを支える中学校区のことです。）

